

提案説明

【 市長提案説明 】

本日は市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には、何かとご多用の中、ご参集をいただきまして、誠にありがとうございます。

今年は3年ぶりに行動制限がない夏となり、各地で祭りなどのイベントが再開されております。

本市におきましても、7月30日に桑名水郷花火大会、8月6日、7日には桑名石取祭が開催され、感染防止対策を十分に講じるなど、新しい祭の形を模索しながらではありますが、3年ぶりに桑名の夏の賑わいを取り戻すことができました。

街中に轟く迫力ある花火と観客の歓声、やかましく響き渡る太鼓や鉦の音を、私をはじめ多くの市民の皆様が待ち望んでおられたことと思います。

例年当たり前のように賑やかに繰り広げられていた光景を再び目の当たりにし、とても感慨深い想いに浸っておりました。

また、遠く離れた場所から桑名を応援していただいている皆様にも、テレビの生中継やインターネット中継、さらにはメタバースいわゆるインターネット上の仮想空間で観賞できる仕組みを通じて現場で感じる賑わいと熱気をお伝えできたことは、これからの時代に求められるサービスの一端を垣間見た感じがいたしました。

開催に向けて幾多の困難を乗り越えられた関係者の皆様のご尽力に敬意を表しますとともに、地域文化の伝承と地域経済の活性化につなげていくことが出来ておりますことに感謝を申し上げます。

さて、一方で、戻りつつある社会経済活動に水を差すように、全国的にも新型コロナウイルス感染症が拡大しております。三重県においては、改めて、マスク着用や手指消毒等の基本的な感染防止対策の徹底に関する注意が喚起されたことで、消費者が自ら外出を控える可能性も高まりつつあります。

また、ロシアによるウクライナ侵攻以来、原材料価格の高騰が続き、光熱費や食料品などの価格上昇を受けて消費活動が急速に冷え込むことも懸念され、景気の先行きには不透明感が残っています。

そのような中、先の6月定例会におきましては、物価高騰による給食費への影響等、議員各位からご心配の声を頂戴し、先月初めに、市議会から市民の安全安心を守るための経済対策等を含めた市民生活に直結した対策を講じるよう、緊急要望をいただいたところでございます。そして、市内経済団体からも、急激な経済環境の変化に伴う支援策の実施について、緊急要望をいただいております。

私といたしましては、このような状況を一刻も早く打開し、市民の皆様の安全安心を守り抜くため、市議会臨時会の開催をお願いし、緊急経済・生活支援対策を講じるための補正予算案を上程させていただいたところでございます。

そこで、緊急対策の一つとなるのが、「子どもや家庭を守るための支援」であります。

様々な生活物資、特に食材値上げの動きは、家計を直撃するだけではなく、子どもたちの成長への影響までもが懸念されるところでございます。食材費の高騰に対し、子どもたちの健康な体づくりを支える食材の品質確保を図り、これまでどおりの栄養価を保った給食を、保護者の経済的負担を増やすことなく、実施するための支援を行います。

子どもたちが楽しみにしている給食をこれまでと変えることなく、可能な限り早期に実施するため、9月からの支援に向けて、準備を進めてまいりたいと考えております。

そして、もう一つの緊急対策は、「地域経済と市民生活を守るための支援」であります。

新型コロナウイルス感染症「第7波」の爆発的な感染拡大によって、人流の減少や対面による購買意欲の低下を引き起こす懸念があります。さらに輪をかけて、物価上昇の波が、地域経済の回復の妨げとして、押し寄せております。

そこで、一昨年、昨年実施し、大変好評をいただきました「キャッシュレス決済ポイント還元事業」による経済対策を実施いたします。今回はさらに規模を拡大し、最大17億円を超える市内での消費喚起・需要拡大を図ることで、地域経済の循環を促進いたします。

市内中小規模の店舗を積極的に利用いただくことで、事業者の皆様、そこで働く従業員の皆様の生活を守り、そして、ポイント還元により少しお得に買い物をしていただくことで、家計の負担軽減につながることをめざし、地域経済の循環と市民生活の安全安心が、相乗的に図られるような対策として、進めてまいりたいと考えております。

また今回、キャッシュレス決済を最大4社に増やし、その活用をさらに促すことで、急速に普及が進む社会のデジタル化に対応できる、桑名のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

これら2本の緊急対策をもとに、長引く新型コロナウイルス感染症の影響と、ロシアのウクライナ侵攻によりもたらされた社会経済情勢の不安に対応することで、地域経済の正常化を進め、市民の皆様の安全安心な生活をしっかりと守り抜いてまいりますので、議員各位におかれましても、引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

それでは、ただいま上程となりました議案第70号「令和4年度桑名市一般会計補正予算（第5号）」につきまして、ご説明申し上げます。

今回の一般会計補正予算（第5号）は、現下の物価の高騰による地域経済の停滞を防ぎ、物価高騰に直面する生活者を支援するため、緊急経済・生活支援対策を行う予算を計上いたしました。

それでは、歳出からご説明申し上げます。

まず、民生費では、保育所の給食費において、物価高騰分と今後の上昇分を見込み、私立保育園等に対する補助金及び、公立保育所における食材費の増額相当分に係る費用を計上いたしました。

保護者の負担を増やすことなく、これまでどおりの栄養価を保った給食の提供を行ってまいります。

次に、商工費では、原油価格及び物価の高騰による急激な経済環境の変化に直面している地域経済、及び市民生活を支援するため、複数の事業者からなる「キャッシュレス決済ポイント還元事業」を実施するための費用を計上いたしました。

消費喚起を促し、地域経済の停滞を防止することにより、市内事業者の皆様をしっかりと支援するとともに、物価高騰に直面する市民の皆様の生活支援を図ってまいります。

次に、教育費では、先ほどの民生費と同様、幼稚園及び公立小中学校の給食費において、保護者負担を増やすことなく、これまでどおりの栄養価を保った給食の提供を行うため、食材費の増額相当分に係る費用を計上いたしました。

続きまして、歳入についてご説明申し上げます。

繰入金につきましては、新型コロナウイルス感染症緊急対策基金から、歳出事業の財源といたしまして、必要な額の繰り入れを行っております。

以上、上程の議案につきまして、大要をご説明申し上げます。
よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

注) 上記の提案説明は、実際の発言と異なる場合がありますので御了承願います。
(会議録が正式な発言記録となります。)